



学校だより ながや

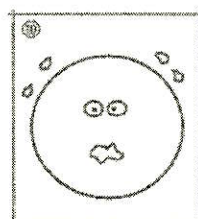
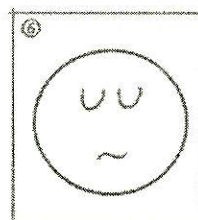
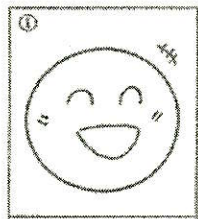
「ひさしぶりにみんなに会えてうれしかった」

校長 神田 敏之

夏休み明け初日、今の気持ちを顔の表情で表しお互いに伝え合うという活動をしました。上は①の表情を選んだ子どもの言葉です。気持ちを表すたすけとして、16個の表情の見本から選んでいます。自分で見本に付け足したり、考えた表情を表したりしている子どももいます。他には6番、10番などの表情を選んだ子どももいます。

子どもたちが安心して自分の気持ちを表すということができるとよいと思っています。気持ちにはプラス、ゼロ、マイナスの気持ちがあります。どんな自分を表現しても周りの人に共感してもらえるという関係性が理想です。6番を選んで「ねむいんだ」と言った時に、「そんなこと言ってちゃだめだよ」という反応ではなく、「そういうときもあるよね」と否定せずに受け止めるというようなやりとりです。

「校長先生、本を20冊読みました」と話をしてくれた子どもがいました。夏休み前の朝会で「勉強するのは何のため」という話をしました。それにかかわる内容の本を3冊、学校図書館司書に探してもらい、その紹介をしました。その本の中



子どもたちの様子についてホームページを活用してお知らせします。月1回程度を予定していますので、「学校日記」等のページをご覧ください。

学校ホームページ

QRコード



に読書の記録カードがあったので、使いたい人は職員室に取りに来ましようと話したところ十数名の子どもが取りに来ました。その中の一人が報告してくれた子どもです。

朝会での話を受け止め、それをもとに読書をたくさんしようという意欲をもち、実行をしました。まさに自分のリーダーを働かせている姿です。

何のために勉強をするのかの理由を自分なりに考えてみましょうという話も今回の朝会で改めてしました。紹介した本が学校図書館に置いてあるのでそれも参考にするように伝えました。まだお子さんと話ができていない方はぜひ子どもの考えを対話の中で聞いてみてください。すぐには見つからないかもしれませんが、それが見つければ勉強に向かう自分の原動力になるはずです。

学校では、夏休み中に大きな事故やけがが無いようにと願っていました。元気な姿の子どもたちを迎えることができほっとしています。

「自分のリーダー」を家庭でも子どもたちは発揮できていましたか。決めたことを予定通り実行するということは、なかなか大人でも難しいことです。ご家族の協力を得て、充実した夏休みになったのならよいと思います。

今後も日々の生活の中で子どもが自分で考え、判断し行動できるようにご支援をお願いします。